

ロックフェラー財団「100のレジリエント・シティ」プロジェクト 運営チームの市長表敬訪問について

アメリカの慈善事業団体であるロックフェラー財団^{※1}（以下「財団」という。）により世界中の都市を対象に公募が行われた2015年の「100のレジリエント・シティ^{※2}」（以下「100RC」という。）プロジェクト（別紙参照）において、本年5月、京都市を含む世界37都市が選定されたところです。

これを受けて、この度、100RCプロジェクト運営チーム（以下「100RCチーム」という。）が市長を表敬訪問され、レジリエント・シティ構築に向けた意見交換等を行いますので、お知らせします。

本市と100RCチームとの相互理解を促進し、結束を深めることにより、今後の本市のレジリエント・シティ構築に向けた取組を加速してまいります。

※1 ロックフェラー財団：アメリカ合衆国の石油資本家ジョン・ロックフェラーが、「人類の福祉の増進」を目的として1913年に設立した世界最大規模の慈善事業団体。本部はニューヨーク

※2 レジリエント・シティ：災害や混乱等に耐え、可能な限り早急に復旧し、より強靱になることを目指す都市。財団が世界の100都市を選定し、レジリエンスの構築に向けた財政的、技術的支援を提供

1 日時

平成28年10月31日（月）午後0時30分～午後1時30分

2 場所

京都市役所 3階 第一応接室

3 訪問者



○ヴィクラム・シン Vikram Singh

アジア太平洋地域事務所 地域ディレクター
(シンガポール)

ドイツ銀行、レイモンド・ジェームズ&アソシエイツでの証券引受業務、国連開発プログラムにおける、エンタープライズ・リスク・マネジメント・フレームワークの開発等の要職を経て100RCに参加。



○ホン・ダル・リム Horng Dar Lim

１００ＲＣチーム アジア太平洋地域 アソシエイトディレクター（シンガポール）

企業の安全対策及び事業継続の専門家として、１２年間ドイツ銀行にて勤務。アジア地域の多くの国で危機的な事態等に対処。京都市担当のアソシエイトディレクターとして、連絡窓口となっている。



○ユミ・ニシカワ Yumi Nishikawa

１００ＲＣチーム アソシエイト（シンガポール）

インドネシア出身。米国コロンビア大学大学院にて行政学の修士号を取得後、ゴールドマン・サックス証券やＪ．Ｐ．モルガン証券などでの３年間の勤務を経て、現職。京都市担当として、連絡窓口となっている。

４ 対応者

門川 大作 京都市長

藤田 裕之 京都市副市長

松本 重雄 京都市危機管理監

５ 次第（予定）※通訳あり

- (１) 開会
- (２) 訪問者紹介
- (３) 門川市長挨拶
- (４) １００ＲＣチーム挨拶
- (５) 意見交換等（レジリエント・シティ構築に関する１００ＲＣ及び京都市相互理解の促進）、報道機関との質疑応答
- (６) 閉会

ロックフェラー財団 100RCプロジェクトについて

1 プロジェクトの概要

- 財団が設立100周年を記念して、2013年（平成25年）に立ち上げたプロジェクト。世界で都市居住人口の急増が見込まれる一方、都市の急速な発展や自然災害等への備えが十分でないとして、公募により選定する世界の100都市に対して、総額1億ドルの財政支援や技術的支援、選定都市相互の情報交換の場等を提供することにより、世界中にレジリエント・シティの構築を目指す取組
- 2013年～2015年の3箇年で、京都市を含む世界の100都市が選定
選定された100都市には、本市の姉妹都市（ボストン、パリ、グアダラハラ）及び世界歴史都市連盟加盟都市（本市を含む15都市）も含まれている。

2 今後の取組等

(1) 平成28年度中

来年1月又は2月に、財団との協働による最初の取組として、市民、大学、経済界等の関係者の参加によるアジェンダセッティング（課題設定）・ワークショップを開催し、プロジェクトについての理解を促進するとともに、地震や水害、土砂災害等の自然災害などの危機事象や、中長期的な人口減少等、本市が直面している様々な課題に対する理解を共有し、その解決に向けた取組の優先順位を明らかにする。

(2) 平成29年度

アジェンダセッティング・ワークショップの結果を踏まえ、今後の取組を先導するレジリエンス統括監（CRO）を設置するなど、取組の推進体制を整備し、財団との協働のもと、レジリエント・シティ構築への取組指針となる「京都市版レジリエンス戦略」を策定し、実行に移していく。

(参考) 財団から提供される4つの支援

- ① レジリエンス統括監（CRO）の雇用資金
- ② 「レジリエンス戦略」を構築するための技術的支援
- ③ 「レジリエンス戦略」の策定と実行を支援するプラットフォームの利用
- ④ 他の選定都市と知識や実践を共有できる100RCネットワークへの加入